

令和6年度 外国語科・外国語活動 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

外国語科（高学年）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

（1）成果

- ・身近で簡単な語句を聞き、その意味を理解することができた。
- ・日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測することができた。

（2）課題

- ・音声聞き、活字体の大文字、小文字を正しく書く力を向上させる。
- ・例文を参考にしながら、自分のあこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く力を向上させる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

（1）達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第6学年	達成率は約8割である。		

達成率とは、目標値※¹以上の正答率※²だった児童の割合
 $\text{目標値以上の児童数} \div \text{受験者数} \times 100$ （％）
 例えば、達成率が7割ということは、目標値に達成した児童の割合が7割ということ。全体の児童が100人としたら、目標値に達しているのは70人で残りの30人は、前年度の基礎的な内容の定着に課題があることを示す。

※1 目標値とは、調査において前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される正答率の値

※2 正答率とは、出題数に対する正解した問題数の割合

（2）分析（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・聞くことは目標値を大きく上回っている。 ・アルファベットの音声を聞き、正しく大文字、小文字を書くことについて、目標値を大きく下回っている。	・目標値を大きく上回っている。 ・もののありかを尋ねる場面で、対話の流れから適切な場所を表す表現を判断して書くことができています。	・目標値を大きく下回る。 ・例文を参考にしながら、自分のあこがれの人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く問題の正答率が低い。

3 授業改善のポイント（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「聞くこと」に関しては、身近で簡単な語や表現を理解できるよう、引き続き音声を聞かせ定着を図る。 ・アルファベットに関しては、音声と文字を結び付け、文字指導の時間を確保する。	・A L Tや友達とやり取りする場面を意図的に増やし、表現する力を高められるようにする。 ・基礎知識を会話文ややり取りに活用し、英語を使って書く力を高められるようにする。	・児童が聞いてみたい、行ってみたいと思えるような必然性のある目的、場面を設定する。

外国語活動（中学年）

1 昨年度の取り組みにおける成果と課題

(1) 成果

- ・第3学年は担任とA L T、第4学年は専任講師とA L Tの二人体制で授業を行っている。A L Tと担任、専任講師とのチーム・ティーチングで授業を行うことで学習活動の幅が広がった。
- ・タブレット端末を活用し、ゲーム要素を取り入れた活動の中でコミュニケーションを図り、外国語の発音や表現を楽しみながら慣れ親しむことができた。

(2) 課題

- ・ゲーム要素を取り入れた活動が中心ではあるが、英語を使った説明では、ゲームのルールが分からず活動に参加することが難しい場面が見られた。よって、ジェスチャーや簡単な英単語を使って、ルールが理解できるように工夫する。
- ・英語を使った活動に意欲的に参加する場面と活動の仕方が分からない場面等、コミュニケーション活動への取り組みに違いが見られた。そのため、簡単な語句や表現を何度も繰り返し、定着を目指す。

2 授業改善のポイント（観点別）

中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日頃から簡単な英単語を用いたり、ジェスチャーをしたりするなど、全身を使って外国語のリズムや音に慣れ親しむ機会を設ける。	・簡単な語句や表現の練習をした後に、児童が主体的に友達や教師とコミュニケーションを図れるよう、発話の必然性がある場面を設定する。	・A L Tの発音やデジタル教材の音源を使用し、日常生活に関する身近な単語を聞き取る活動を多く取り入れる。